

教育の現場に自然の力を
家庭との信頼関係もより強く

横浜からは幼稚園のようすを。こども環境管理士と考え方が一致したという笠原さんは、学校の教科に『自然体験』を入れるべきといいます。保護者がそれを園に求めていることはアンケートの回答にも。そして、子どもたちは先生を慕い、家庭と園の距離も近くなりました。

『自然体験』が園の特色
さらに資格が後ろ盾に

「ことも環境管理士が行う、子どもたちが目を輝かせて遊んでみたくなる環境づくり。『嬉しかったのは、子どもたちが自然に興味を持つようになり、自発的に生きものを探すようになったことです』」そう話す笠原さんは、子どもたちの成長をひしひしと実感しています。「生きものを自分たちで発見するゲームをしてみれば、学年が上がるにつれ観察力がどんどん高くなっていることがよく分かります。年長と年少では反応が全く違うんです」

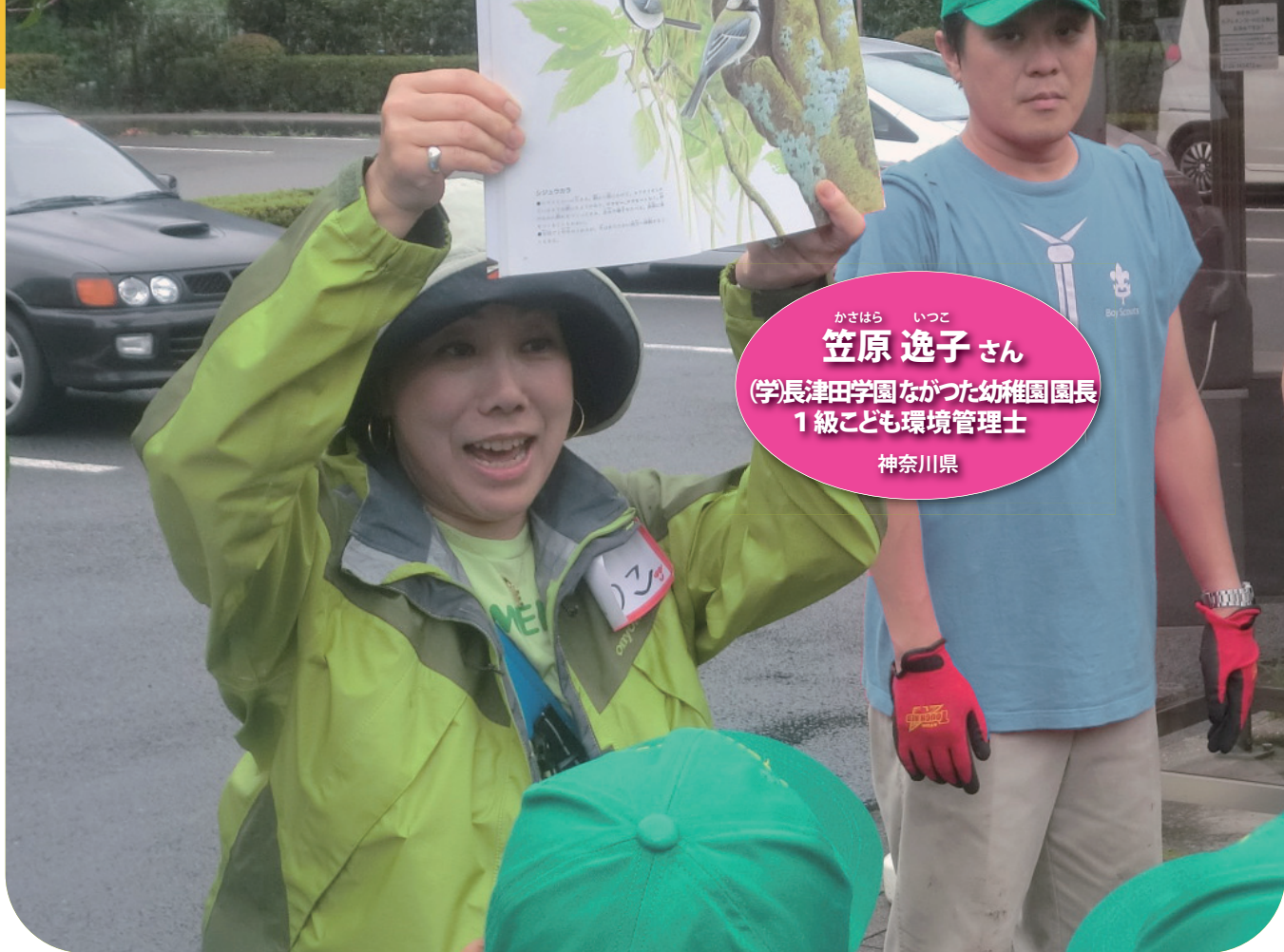
入園後のアンケートでは、この園を選んだ理由として、お山があるから、自然に親しめるから、生きものに触れさせたいから、との声が増えてきているのだそう。子どもと一緒になっている」と質問される保護者の方もいるのだとか。つまり、自然体験を通じて豊かな感性を育む教育が園の特色になっており、それを求めている保護者にはまさに理想だったのです。

先生を目指す学生さんにひと言

「豊かな世界観を身につけるためには最良の資格です。知らない世界を知るようになり、子どもたちの素直な感覚を受け止め、拾い上げることができます。この事は幼児理解に繋がり、共有体験を多く持つスキルアップになります。自然事象・生活環境全般でこれからの幼稚園教諭には習得すべき資格です。自分の感性を呼び戻そう！」

夜の調査も! 上の写真は
ボーイスカウトにて。園を
飛び出しても大活躍です。

子どもたちも保護者のみなさんも、笠原さんのお話に夢中。野生の生きものとの出会いがもっと楽しくなります。



体験すれば分かること
多くの方に知ってもらいたい

子どもを教育するうえで、保護者や先生への教育も大事だという笠原さん。先日、40代の保護者をお山に連れて行き、ハンミョウを見せるとたいへん感動されていたそう。山のすがすがしさ、川のせせらぎ。それまで体験していないので知らなかっただけなのであって、一歩足を踏み入れれば、そこにある全てに感動があります。そのようなことをもっと知ってもらいたくて、保護者向けの広報紙やブログで情報を発信し続けています。また、ネイチャーズなどの企画運営のほか、自作の展示物を通し、自然や生きものに触れてもらう活動も。

「今後は、活動の多様化を目指したい
 と思っています」 お山と園庭ヒオ
 トープの管理を充実させ、そうした場
 を提供すること、近隣の小学校や教
 師との連携。ゆくゆくは小さな博物館
 をオープンさせたいのだから。「子ども
 もも大人も、気軽に自然と触れ合い、不
 思議を見つけ、それを将来に繋げてい
 ける場になければ」

信頼の輪は、園と家庭とその周辺だけではなく、遠い将来世代との間にも十広がっていくのかも知れません。

家庭との信頼関係つくる**『自然体験』**を学校の教科に

お山は当初子どもたちの遊び場という認識だったそうですが、思いのほか野生の生きものたちが見られるため、

もっと生きものたちがすみやすくなるよう整備。これで子どもたちは大喜びですが、若い先生には生きものが苦手とされない方も多いのだとか。しかし、「教室でチョウを飼う体験を通して、生きものに興味を持つようになった先生もいるんです」 子どもが園での体験を家庭で話すことで、保護者と先生には共通の話題ができ、より距離が近くなります。また、体験を共有することで子どもたちは先生を慕い、保護者と先生との間により強い信頼関係がつくられました。こうした結果を生み出す自然の力は、やっぱりすごいんです。

自分自身が自然体験をしていないぶん、自然の大切さや素晴らしさは分かっていても、どのように伝えたら良いのか戸惑ってしまう先生たちが多いのかも知れませんが、そして笠原さんは言います。「学校の教科のなかに『自然体験』というものをきちんと入れていかなければと思います。幼稚園の先生を養成する短大や大学はもちろんです」 文部科学省も必要不可欠だと言っている一方、手仕事やダンスなどは教えるのに、自然に関してはまだそこまで至っていないのが現実です。「何がいちばん大切なのは、自然が教えてくれるの」

信頼の輪は、園と家庭とその周辺だけではなく、遠い将来世代との間にも十広がっていくのかも知れません。



雨の日だっておさんぽ!このような日にしか出会えない生きものに
触れ合い、天から雨が降ってくることを体験的に学ぶことができます。



お山はまさにワンダーランド。五感をフルに使ってのネイチャーゲームは、伸びのびと、しかし確実に、子どもたちを成長させます。

※『こども環境管理士資格試験』は、環境教育促進法に基づいて環境教育の人材認定等事業に登録されており、よって、こども環境管理士の有資格者は環境教育の指導者として公に認められています。詳細は環境省「環境教育の人材育成・人材認定等事業データベース」のサイトをご覧ください。